

令和5年度東京大学学校推薦型選抜

(法学部)

グループ・ディスカッション課題

注意事項

- (1) 審査員の合図があったら、この表紙を開いて課題文を読んでください。課題文を読む時間は5分です。
- (2) 5分後にまた審査員が合図をしますので、グループ・ディスカッションを開始してください。
- (3) ディスカッションの時間は85分です。指定された時刻までに議論を終結させてください。
- (4) 審査員は議論の進行に関与しません。決定のしかたや議論の進め方はみなさんで決めてください。
- (5) ディスカッション終了の時間までに、ディスカッションで到達した主要な結論をまとめてください。ただし、全員が同じ結論に到達する必要はありません。複数の結論を含んだまとめでも結構です。また、到達した結論について審査員にプレゼンテーションを行う必要はありません。
- (6) このグループ・ディスカッションはみなさんの論理的思考力、発想力、コミュニケーション能力、チームで作業する能力などを審査するためのものであり、思想・信条を評価の対象とするものではありません。
- (7) 課題冊子とメモ用紙はディスカッション終了時に回収します。課題冊子・メモ用紙への書き込みは審査の対象となりません。

あるテレビ番組の出演者が、番組内での言動をきっかけに SNS 上で多数の人から誹謗中傷を受けて、自死に至ってしまったという事件を契機に、侮辱罪の刑罰について法改正があり、公然と人を侮辱した者に対して以前よりも重い刑罰を科すことができるようになりました。

この侮辱罪の重罰化をどのように評価しますか。以下のような意見も考慮に入れて、いろいろな角度から考察してみてください。

「SNS にアクセスしなければ誹謗中傷を目にしなくて済むのだから、侮辱罪の重罰化は不要である。」

「政治家や官僚に関する投稿と一般人に関する投稿は分けて考えるべきである。」